

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	特別活動
科目基礎情報						
科目番号	0165		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材						
担当教員	遠藤 登					
到達目標						
以下の各項目を到達目標とする。 ① 学校行事、学級指導を通し、自己管理能力、責任感を身につける ② 研修旅行、学年講演会、進路指導等を通し、企業活動を理解し自身のキャリアデザインについて考えることができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	自身の目標に対し、実現に向けた具体的な計画を立て実行できる		目標を設定し、目標の実現に向けた計画を立てることができる		目標を設定できない、または目標の実現に向けた計画を立てることができない	
評価項目2	自身のキャリアデザインに合わせ、自身の適性・能力を具体的に検討できる		企業活動の概要を理解し、自身のキャリアデザインを考えることができる		企業活動の概要を理解できない、または自身のキャリアデザインを考えることができない	
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	学校行事、学級指導等を通し自己管理能力を養うと共に、研修旅行、学年講演会、進路指導等を通し、自身のキャリアデザインについて継続的に考えられる素養を身につける					
授業の進め方・方法	学校行事、研修旅行、学年講演会など各種行事に参加すると共に、担任による学級指導、進路指導を通し自己管理能力、キャリアデザインについて学習する 英語導入計画：なし					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	学校行事、学級指導		・ 自己管理能力の重要性について認識する ・ グループの一員として責任感を持った行動ができる	
		2週	学級担任による進路指導・生活指導および就職講演会等		・ 進路指導を通して自身のキャリアデザインの重要性を認識できる ・ キャリアデザインの要素として、企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素があることを認識できる	
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				

		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	目標の実現に向けて計画ができる。	3		
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	2		
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	2		
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3		
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	2		
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。	2		
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	2		
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	2		
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	2		
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	2		
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	2		
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	2		
				企業には社会的責任があることを認識している。	2		
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているかを説明できる。	2		
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	2		
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	2		
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	2		
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	2		
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	2		
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でのように活用・応用されているかを認識できる。	2		
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	2		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	50	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	50	50	0	100